

## ◎ 今月のトピック

### ◆南郷トマト生産組合、日本農業賞の福島県代表に!

第29回日本農業賞(NHK、JA全国農協組合中央会、各都道府県農協中央会主催)の福島県代表に南郷トマト生産組合(栗城晃組合長)が選ばれ、12月中旬の全国審査(集団組織の部)に出場することに決まりました。

同組合は約40年の栽培歴を持つ高品質夏秋トマトの大産地として知られ、組合員戸数は管内5町村で130戸に達し、近年は都会からの新規参入者も受け入れるなど新規就農者の育成確保により、組織の活性化を図っています。また若手でつくるトマト研究部会を中心にトマトの空洞化を防ぐためのマルチバチ利用や省力化のための養液土耕の導入等、新技術開発に取り組むなど、その活動が高い評価を受けたものです。

管内各町村、JA会津みなみ、南会津地域農業改良普及センターでつくる南郷トマト振興協議会等の支援体制も万全であり、同組合の今後の活動は更に期待されます。

### ◆「日本の森を語る」シンポジウムが開催

12月4日に、下郷町ふれあいセンターにおいて「日本の森を語る」というテーマでシンポジウムが開催されました。シンポジウムは、南会津グリーンストッククラブと筑波大学で行う山村大学の公開講座の一環。

シンポジウムでは、C・W・ニコル氏を招いて講演が行われ、森の大切さや日本のすばらしさについて会場にこられた方々にわかりやすく話されました。講演終了後、ニコル氏をはじめMORI MORIネットワーク代表の山縣睦子氏ほかの参加によりパネルディスカッションが行われました。会場からパネラーに対し、「森」についての様々な質問が出され、予定時間を超える活発な討論会となりました。

山村大学では、今後も1月22日(土)に「山村振興と野外教育」、2月19日(土)に「明るい山村を考える」というテーマで公開講座(いずれも入場無料)を行うこととしています。なお、会場は会津田島ふれあいステーションプラザ。詳しくは山村大学事務局 田島町役場企画振興課

渡部正義さん(TEL0241-62-6200、FAX0241-62-1288)まで。



活発なパネルディスカッションが行われた

### ◆枝打ち・間伐講習会が行われました

11月30日に下郷町沢入地区において、下郷町林業振興協議会主催による「枝打ち・間伐講習会」が開催され、町内一円から12名の林家が参加しました。

まず、沢入公民館で枝打ち・間伐、造林補助事業等について講義を行い、より良い山づくりについて討議を行いました。その後、同地区のスギ林において、参加者全員で自動枝打ち、間伐木の選定の実習を行いました。参加した林家の方からは、今後もより一層、枝打ち・間伐等の森林施業を実施していきたい旨の意見が出されました。



スギ林の中での講習会

◆焼くな!捨てるな!集めよう! ~適正処理で守ろう美しい南会津~ 「南会津地方農業用使用済プラスチック適正処理地区協議会」設立される!

平成11年11月29日に、南会津地方農業用

JA会津みなみ佐藤事業部長、以下、「地区協議会」が設立されました。この地区協議会は、JAの他に、生産組合、管内各町村及び普及センター、農林事務所が構成メンバーとなっており、回収に関する業務を行う組織です。

これを機会に地区協議会では、農業用使用済プラスチックの野焼や不法投棄等によって、有害物質を発生させるといった環境への悪影響はもとより、県内有数の園芸産地である南会津地方のイメージダウンといったことのないよう、農業用使用済プラスチックの適正処理を推進していきます。

#### ◆農業賞の受賞祝う（只見町そば部会）

第40回福島県農業賞（農村女性活動部門）に輝いた只見町そば部会の受賞記念祝賀会が農業関係団体などで行う実行委員会主催で11月24日に、只見町の季の郷・湯ら里で行われました。

酒井テイ部会長が結成当時の苦勞したことを織り交ぜた挨拶を行ったあと、南会津地域農業改良普及センターの坂本所長から受賞経過報告が行われました。また、南会津農林事務長ほか出席した各来賓の方々から祝辞が述べられました。

### ★ 地域紹介コーナー

### ・・・ 只見町 ・・・

## 「只見町町制施行40周年植樹」

～golfer協力緑化促進事業～

農林課長 渡部 清弥

11月20日（土）只見町において町民約70名が参加して、町制施行40周年の記念植樹が行われました。

はじめに、ただみ・川のものしり館前で開会式が行われ、小沼町長が「参加して、みんなで植えようという第一歩が大事なこと、皆さんのご協力に感謝します」と挨拶。同館脇の公園に、高さ5mのコブシの木が、町長、町議会議長、町建設業協会長の手により植えられました。

次に、只見ダム湖岸の町道に全員移動して、オオヤマザクラとコブシの苗木87本を、約600mの区間にわたって、力を合わせて1時間ほどで植えました。参加者は、やがて成長し、美しい並木道となり、町の名所となることを願いながら、快い汗を流しました。

この苗木は、福島県緑化推進委員会から「golfer協力緑化促進事業」の採択を受け購入したほか、友好都市の千葉県柏市ふるさと交流協会からも御寄贈いただきました。

また、植樹に当たっては町建設業協会が刈り払いなどに協力、電源開発(株)には植栽場所を協力い

ただきました。

町では今後も計画的にサクラを植栽し、只見川のサクラの名所を造成していく予定です。

さらに、この日、花の多い町づくりを進めるために、町の花コブシの苗木を各地区に配布し、区民で公園や道路わき等に植樹しました。これを機会にして各集落が、それぞれの持ち味を出し、少しずつ計画的に整備されていくことが期待されます。



いつかきれいな並木道になって・・・

### 特集！ 下郷町きのご振興協議会の活動について

下郷町には、林家等30名からなる下郷町林業振興協議会があります。この協議会は、きのこの振興から林業全体の振興まで、下郷町の林業活性化のために、いろいろな活動をしています。

この林業振興協議会の中に、きのこ生産者15名で構成されている「下郷町きのご振興協議会」があり、きのこの生産から消費拡大までさまざまな活動を行っていますので、その活動内容を紹介

します。

#### 1 きのご祭りの開催

毎年、10月下旬（今年は10月23日開催）に下郷町物産館前で開催しています。

ナメコ・クリタケ・マイタケ・ブナシメジ・ハタケシメジ等の下郷町で栽培されているきのこが格安で販売されました。また、きのこを買った人にナメコ汁が無料サービスされました。

地元はもとより、会津若松市や県外から聞きつけて買いにくるなど、毎年盛大になってきています。

## 2 地元小学生によるきのこ採り体験学習会の開催

会員の一人である、水門の渡部善市氏のきのこほだ場において、下郷町立旭田小学校中妻分校の子供たちによる、ナメコ等のきのこ採り体験学習会を今年開催しました。

まず、採り方等を習った後、原木から生えているナメコ等を楽しそうに採っていました。また、子供より親の方が一生懸命採っていたようでした。

## 3 きのこと栽培相談会の開催

協議会では、きのこの栽培方法について、相談にきた人に随時対応しています（ただし、繁忙時はご遠慮願います）。また、ハタケシメジ

については、昨年南会津地域農業普及センターの協力により、田島町の女性グループへの栽培研修会を開催しました。

なお、きのこについてのご相談は、農林事務所森林林業部で、随時、お受けしますので気軽にご連絡ください。（Tel 0241-62-5375）



きのこ採り体験で森を学ぶ

## ★この人を知りたい

### 「地域の機関車」

下郷町沢田に住む渡部澄子さんは、下郷町ふるさと振興協議会の会長として毎日忙しく活動なさっている方です。

平成8年8月に発足した「下郷町ふるさと振興協議会」は、13の団体と30名の個人会員からなる大きな組織で、都市との交流、地場産品の開発、イベントの開催・参加などによって地域の活性化を図ることを目的に活動しています。その大所帯をまとめている澄子さんは、「私は小使役」と謙遜していますが、「人を動かすには、まず、率先して自分が動くこと。一人の行動でなく、百人一步！みんなで活動することが大事」「みんなの個性を生かす」という考えで組織を引っ張っています。

ふるさと振興協議会では、主に収穫祭、チャリティー感謝祭などのイベントを行うほか、会員から良いアイデアが出されると、すぐに実行するそうです。その行動力と柔軟さは「みんなで楽しく」をモットーとする澄子さんから出来るのかもしれない。

澄子さんは同時に町の婦人会会長も努め、女性地位向上や環境問題について活動していますが、下郷町を昔から見てきて「地域活性化」という言葉が根本にあり、どのような活動からも地域を元気にしていきたいと考えています。

下郷町沢田 渡部澄子さん

以前、ある人に「おまえは機関車として生まれたのだから、機関車として生きろ」といわれたことが今でも心の支えとなっていて、このこと、機関車にも燃料補給が必要だと常に勉強することを忘れず



に「読書」や「情報交換」を行い、心と頭に栄養を与えているそうです。

これからは、「やはり後継者が必要。若い人がリーダーとなっていかなければ」と考えているそうですが、澄子さんの活動を見ることで、後についてくる若いリーダーは自然に育ってくるはず・・・と思われました。

なお、下郷町ふるさと振興協議会では、ドリームパック（アップルジュース、会津猿樂そば、切りモチ、じゅうねんみその他の各パック）として、ふる里の味をお届けしています。

詳しくは、Tel 0241-63-1172 玉川さんまで。

とってもおいしい切りモチをつくる

～研修会・講習会のお知らせ～

農業短期大学校・会津農業センター研修

内 容	日 時	場 所
①農業機械研修：「無人ヘリ操作基本」	1/17～20	農業短期大学校内
②専門研修：「シミュレーションによる社会経営管理技術」	1/19～20	〃
③農業機械研修：「農業機械導入利用」	1/25～27	〃
④農産加工基礎研修：「パン加工」	1/27	〃

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

窓

格 言

格言、名言、箴言<sup>しんげん</sup>など、いずれも「深い経験を踏まえ、簡潔に表現した、いましめとなる短い言葉」とあるが、しかしこの格言は、ややもすると冒頭の表現のみでとらえる向きが多い。

例えば、あの有名な「ボーイズ・ビー・アンビシャス」のクラーク博士の話。

明治10年、アメリカに帰国する朝、「青年よ、大志を抱け（ボーイズ ビー アンビシャス）」と、札幌農学校の学生に述べられた言葉です。

普通、この博士の言葉はともすると、立身出世をするために若いときから大望を抱け、というふうに誤解して解釈される向きが多いようですが、実際にはこの言葉のあとクラーク博士は、「大志を抱くのは、決して名声のためでも、金のためでも、権勢をほしいままにするためのものではなく、自分のより良き人生を完成するために必要である」とつけ加えておられるのだそうです。

昨今の時代背景だからこそ、博士のこの言葉（格言）を良くかみしめ、これからの人生を送るうえからも、「幸福へのアンビシャス」を持ち続けることが必要ではなからうか。

それでは、20世紀最後の年“平成12年”が皆様にとりまして良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

所長 横田

3ヶ月予報

仙台管区気象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

- 12月 平年と同様に、東北日本海側ではくもりや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。
- 1月 東北日本海側では平年に比べくもりや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 2月 平年と同様に、東北日本海側ではくもりや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

お問い合わせ

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。  
郵便・FAXどちらでも結構です。

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349

この広報誌は再生紙を使用しております